

# LIBRARY TIMES



鎌ヶ谷市立第三中学校 図書館だより No. 5 2014/10 月

ふわりとしたキンモクセイの香りがすると秋だなあと感じます。「実りの秋」ともいわれるこの季節は、自然からのすてきな贈り物がたくさんありますね。

今月の図書だよりでは 10 月 27 日から始まる「読書週間」の取り組みを紹介します。図書室にも是非、足を運んでください。「読書の秋」を大いに楽しんで自分自身も実りある季節にしましょう。

## 本の並び方のおさらい

突然の返却方法の変更でしたが、ほとんどの人がスムーズに棚に戻してくれるようになりました。でも時々ちがう場所に戻されている本を見つけるので、図書室の本の並び方についておさらいします。

### ★シリーズの本は左からスタートして1巻から順序よく!

順序が乱れがちなのは...

『はだしのゲン』などの漫画や『空想科学読本』『ギネス世界記録』

ギリギリまで読んでいるから時間がなくて  
雑になっちゃうのかな?

### ★小説・物語の棚は著者の50音順!

背表紙のラベルに書いてあるカタカナの順に並んでいます。(緑の見出しを参考に)

同じ作者の本はまとまるように置いてください。

長編シリーズはワ行の後のスペースにまとめてあります。こちらも1巻から順に戻しましょう。

### ★本を横向きに置くのは戻したとはいえないよ!

すんなり入らなくて面倒になったのか、並んだ本の上にポンと置かれている本があります。本は片手では戻せません。片方の手でスペースを作りもう片方の手で本を入れるのです。

### ★分からないときは聞く!

これだけの本の量です。場所が分からなくなっても仕方ありません。それに本を出し入れしているうちに少しずつ戻す位置がずれることもあるのです。

分からないときは遠慮なく聞いてください。

**先に返却手続きをすませてから新しく借りる本を探しにいきましょう。**

## 読書週間が待ちきれない!



今年の読書週間の標語とポスターが完成しました!

図書室では例年通り

## 貸出冊数の増加 と しおりの配布

を行います。

10月の特集コーナーは「読書週間コーナー」としておすすめ本の展示を行います。

展示テーマは「めぐる世界」「船の絵」に因<sup>ちな</sup>んで...

## 「本の世界で旅・冒険」

裏面で展示する本の紹介をしています。他にもテーマに合う本があったら教えてください。コーナーに追加します。紹介カードも相変わらず募集中です。どしどし書いてください!

## 10月の開館予定

★( )内は昼休みの学習委員当番クラスです。

時間は図書室前の掲示板で確認してください。予定が変更になる場合もあります。

月	火	水	木	金
		1日	2日開館 (1-4)	3日開館 (2-1)
6日	7日開館 (2-2)	8日開館 (2-3)	9日	10日開館 (2-4)
13日 体育の日	14日開館 (1-1)	15日	16日開館 (1-2)	17日開館 (なし)
20日	21日開館 (なし)	22日	23日開館 (なし)	24日開館 (なし)
27日振替休業	28日開館 (1-3)	29日	30日開館 (なし)	31日

裏面へ GO!

# 月の特集 紹介

『トム・ソーヤーの冒険』 NDC933ト  
(マーク・トウェイン/作 福音館書店)

私が初めてこの物語を知ったのはアニメでした。やんちゃぼうずで、いたずらっ子のトムが毎回起こす騒動を楽しく見ていたものです。こんなに色々なことが起こるなんて元気な少年にとっては日常が冒険になるのだなと思いました。著者は、本に書かれていることのほとんどが実際に起こったことだと書いています。生き生きと描かれる登場人物たちにはモデルとなった人がいたようです。

ディズニーランドでは  
いかだに乗って  
トムソーヤ島へ渡ることが  
できるね！

『旅するウサギ』 NDC913タ  
(竹下文子/作 小峰書店)

見知らぬ土地を一人で旅をしたことがある人は、ほとんどいないのでは？  
この本を読むと、少年ウサギと一緒に旅をしているような気分になります。色々なできごとや出会いを楽しむことが旅の良いところなのでしょう。



タンタンの冒険旅行 13 『月世界探検』 NDC Eエ (エルジェ/作 ポプラ社)

12巻から続く月へのタンタンの冒険ですが、とうとう月面へ着陸します。アクシデントだらけで始まる月の探検は、さらにハラハラしたアクションの連続。タンタンたちは無事に地球へと戻れるのでしょうか。

かわいらしい絵柄と登場人物たちの楽しいかけあいだけでなく、リアルな描写と物語の展開で少ないページでも読み応えのあるシリーズとなっています。

『地底旅行』 NDC943ハ  
(ジュール・ヴェルヌ/作 長崎出版)

謎の暗号文を苦心のすえ解読したリーデンプロック教授と甥の助手アクセル。2人は無口なガイド、ハンスとともに地球の中心へと旅に出た。そしてそこで3人が目にしたのは...

ヴェルヌ自身も冒険や旅を愛していたそうです。このほかにも『15少年漂流記』や『海底2万里』など、多くの冒険物語を残しています。

これらの  
本も  
展示中！

『僕を探しに』 NDC933シ  
(シルヴァスタイン/作 講談社)

「何かが足りない それでぼくは楽しくない」

自分の足りないかけらを探しに旅に出る。  
見つかったと思ったら 違って  
びったりなのに 自分らしくなくて...

自分探しは冒険の旅



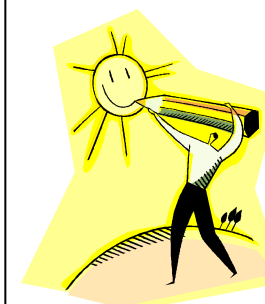
『この地球を受け継ぐ者へ』 NDC916イ  
(石川直樹/著 講談社)

「世界各国から集まった若者が北極から南極までの道のりをスキーや自転車など主に人力の移動手段によって旅をするという壮大な計画」(本文より)に参加した著者の記録です。

いつもは一人旅ですが、このプロジェクトで初めてチームで旅をすることになります。各地でボランティア活動をしたりして著者の中でも、いつもと違う旅を味わったようです。

旅での出会いで人生観が変わった、ということを知ることがあります。ほかにも、

旅の手記をいくつか展示中。  
椎名誠氏、星野道夫氏など実際の旅先でのできごとなどを読むと行ったことがない場所でも、旅をしたように感じてお得な気分になれるかもしれません。



読み継がれる  
名作には  
壮大な冒険の  
お話がたくさん！

●これらの本は特集コーナーにあります。この他にもたくさん本があるので楽しみに。紹介カードをかいてくれる人は司書まで声をかけてください。用紙を渡します。